



# JBL TRIP 取扱説明書

## 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- ⊘ 液が濡れたとき
- ⊘ 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 水がかかるときの注意
- ⊘ 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

## 警告

- ⚠ 対応以外の USB ケーブルを使わない。電池の破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。
- ⚠ 分解や改造をしない。火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- ⚠ 煙が出る場合、異常なおびや音がする場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- ⚠ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気が多い場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

- ⚠ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ⚠ 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。本体の外装や内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- ⚠ 音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
- ⚠ 飛行機の中で使わない。飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中では本機の電源を切ってください。

## 注意

- ⊘ 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下して、破損やけがの原因になります。
- ⊘ 濡れた手で本機に触れない。感電や本機の内部に水が入り、故障の原因になることがあります。
- ⊘ 本機を叩いたり、蹴ったり、踏んだりしない。破損やけがの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。
- ⊘ 薬物厳禁  
ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

## 電池についてのご注意

- ⚠ 電池の液が濡れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
- ⚠ 液が濡れたとき
  - 濡れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
  - 液が目に入ったとき
    - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
  - 液が体や衣服についたとき
    - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ⚠ 電池について以下のご注意をする。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
  - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
  - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
  - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
  - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
  - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
  - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

**注意**

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**安全にお使いいただくために**

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

**ご注意ください！電子機器の例**

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

**電波法に基づく認証について**

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

**周波数について**

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

## 本機の特長

- ◆ JBL 独自設計による高音質サウンド  
40mm 径フルレンジスピーカー×1基搭載。中音域に厚みを持たせた臨場感豊かな高音質サウンドを実現しました。
- ◆ 独自のノイズキャンセリングシステム  
米国にて特許取得済みの、独自のノイズキャンセリングシステムを搭載。走行中や、風の音などの悪条件下でも、クリアな音質でハンズフリー通話を楽しめます。
- ◆ 大容量リチウムイオン充電電池搭載  
1,200mAh の充電電池を搭載。フル充電で音楽再生は最大 8 時間、通話は最大 20 時間、そして 800 時間の待機時間を可能にしました。
- ◆ Siri、Google Now に対応  
Bluetooth 接続経由で Apple の Siri や Google Now の利用にも対応しています。

- ◆ コンパクトなポータブルサイズ  
高さ 6.4cm、幅 13.4cm、奥行き 3.4cm、重量は 230g と、クルマのサンバイザーにクリップで取り付けできるコンパクトなポータブルサイズ。穴あけ加工などは不要なので、クルマを変えても、また家の中でもご利用いただけます。



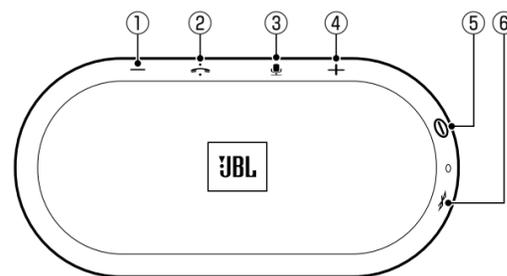
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Harman Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- 本取扱説明書では、® および TM 表記を省略しています。

## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- クリップ（サンバイザー取り付け用）
- 充電用 USB ケーブル
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

## 各部の名称とはたらき



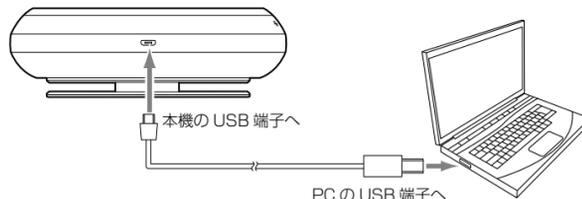
- ① 音量ボタン（-）（タッチセンサー）
- ② ハンズフリー（📞） / 再生・一時停止ボタン（タッチセンサー）
- ③ マイクボタン（🎤）（タッチセンサー）
- ④ 音量ボタン（+）（タッチセンサー）
- ⑤ 電源ボタン（⏻）
- ⑥ Bluetooth ボタン（📶）

## 充電する

付属の USB ケーブルで、PC または電源コンセントから充電します。充電時間は約 2 時間\*です。

\* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

PC から充電する場合は、付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、PC の USB 端子に接続します。



電源コンセントから充電する場合は、市販の USB 対応 AC アダプタが必要です。

付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、USB 対応 AC アダプタの USB 端子に接続し、USB 対応 AC アダプタを電源コンセントにつなぎます。

充電中は本機の LED ランプが赤く点灯し、満充電になると消灯します。充電が完了したら、USB ケーブルを本機からはずしてください。

## 電池残量について

ご使用中、本機の LED ランプが青から赤に変わったら充電してください。

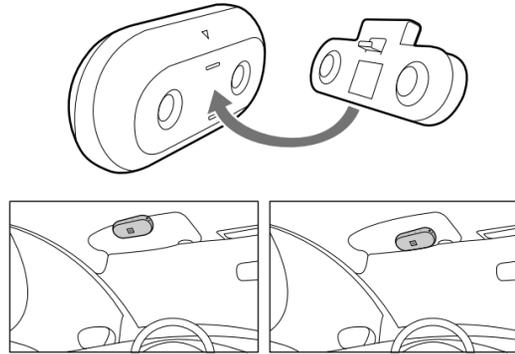
充電電池が空に近い状態になると、LED ランプが赤く点滅します。

## クリップを取り付ける

車のサンバイザーに本機を取り付ける際は、付属のクリップを使用します。クリップはマグネット式で、本機裏面の溝に合わせてクリップを取り付けてから、車のサンバイザーに取り付けます。クリップは上向き、下向きどちらの方向にも取り付けることができます。

### サンバイザーに取り付ける際のご注意：

- サンバイザー取り付け用クリップは、落下防止のために挟み込み強度を高めています。このため、サンバイザーに取り付け跡が残る場合があります。
- 本機は車内温度に耐えられるよう設計されておりますが、車から長時間離れる場合は、本機をサンバイザーから取りはずして車外に持ち出すことをおすすめします。



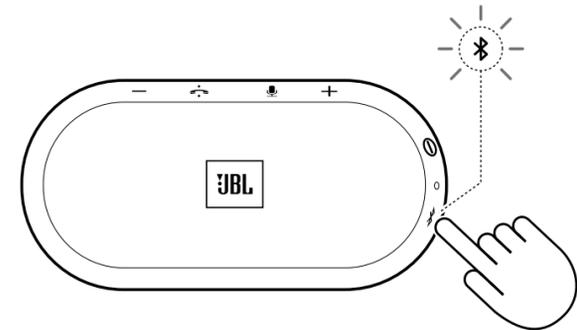
## Bluetooth 接続を行う

- Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。
- 本機は Bluetooth マルチポイント機能により、Bluetooth 接続で携帯電話・スマートホン を 2 台同時に待ち受け状態にしておくことができます。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 電源ボタン (Ⓚ) を押して、本機の電源を入れる。
- Bluetooth ボタン (✳) を押す。  
Bluetooth ボタン (✳) が点滅し、ペアリング設定状態になります。



- デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
iPhone/iPod/iPad の場合：

- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- デバイスから「JBL Trip」を選択する。  
接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。  
・登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。  
・機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合：

- ペアリング設定状態にする。  
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。  
Bluetooth ボタン (✳) が青く点灯すると、ペアリングは完了です。

### ▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

#### iPhone/iPod/iPad で設定する



- iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- 📶 アイコンをタップする。
- 「JBL Trip」をタップする。

#### その他のデバイスで設定する

▶ 接続したデバイスで再生を始める。  
接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機のハンズフリーボタン (☎) / 再生一時停止ボタンをタッチして再生・一時停止を操作することができます (一部対応していないデバイスがあります)。

### ▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイスの Bluetooth を「OFF」にします。

#### オートパワーオフ機能について

本機の電源がオンのとき、約 30 分以上音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。電源がオフになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、オートパワーオフ機能をオフにすることはできません。

## ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートホンとハンズフリー (HFP) 接続すると、本機のハンズフリーボタン (☎) で iPhone・携帯電話・スマートホンの簡単な操作を行うことができます。スマートホンとハンズフリー接続されている場合、着信があると本機で着信音が鳴ります。着信音を停止したい場合は、マイクボタン (📞) をタッチしてください。

| 状態                 | ハンズフリーボタン (☎) の操作            |                   |
|--------------------|------------------------------|-------------------|
|                    | 1 回押す                        | 押し続ける             |
| 着信しているとき           | 電話を受けます。                     | 着信拒否します。          |
| 通話中                | 電話を切ります。                     | 本機から電話に通話を切り換えます。 |
| 通話中に別の着信があったとき     | 現在通話している電話を切り、着信している電話を受けます。 | 着信している電話に着信拒否します。 |
| どちらの電話も着信 / 通話中のとき | 両方の電話を切りま                    | 押すごとに通話を切り換えます。   |

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。  
※ 携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

### ▶ Siri、Google Now を起動する

音声エージェントアプリに対応したデバイスが Bluetooth 接続されているときに、マイクボタン (📞) をタッチすると、Siri(iOS) または Google Now(Android) を起動させることができます。  
・安全のため、本機の操作は車を停車させてから行ってください。

## トラブルシューティング

| 原因                    | 解決法  |
|-----------------------|--|
| 本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。 | 本機が充電されているかご確認ください。  |
| 電源は入るが、音が出ない。         | ペアリングされているかご確認ください。<br>オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。<br>オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。  |
| 音が歪む。                 | 音量が上がりにすぎている場合は音量を下げてください。   |
| ペアリングできない。            | お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。<br>別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。 |

## 主な仕様

|           |  |
|-----------|--|
| Bluetooth | Bluetooth3.0                           |
| 対応プロファイル  | A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HFP V1.6、HSP V1.2 |
| オーディオ入力   | Bluetooth × 1                          |
| 最大出力      | 3.2W                                   |
| 使用ユニット    | 40mm 径フルレンジスピーカー                       |
| 電源        | リチウムイオン充電電池                            |
| 充電時間*     | 約 2 時間 (0.5A)                          |
| 連続再生時間*   | 音楽再生：8 時間、ハンズフリー通話：20 時間、待ち受け：800 時間   |
| 周波数特性     | 160Hz ~ 20kHz                          |
| サイズ       | 幅 134mm × 高さ 64mm × 奥行き 34mm           |
| 重量        | 230g                                   |

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。  
・時間は、使用環境により異なります。

## ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

## ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

## ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

## ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。  
携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

## ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日を除く、平日 9:30 ~ 17:30